

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 札幌市ひまわり整肢園

公表日 令和 7 年 2 月 18 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0	登園人数や登園児の状況に合わせてスペースの使い方を工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0	利用者が手にする遊具などは、わかりやすく用途に応じてまとめて整理されている。バリアフリー化されている。掲示板などを利用して情報伝達できるよう工夫されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	換気、加温、清掃、遊具の消毒を徹底している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	必要な場合は、個別対応できる部屋がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	0	業務計画の作成、評価を各職種で行い、全職員で確認し評価反省を行っている。定期的にケース会議を行い、職員全体で情報共有できるようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	保護者向けに評価表を記入してもらい、内容を職員全体で把握し、共有、検討し、業務の改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	毎日、業前、業後ミーティングや各職種で会議を行い、職員の意見を出し合い、業務内容に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	13	外部評価は実施していないが内部監査や保護者による事業所評価を行い、全体で共有し改善に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	今年度は職員研修を11回開催した。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	支援計画作成前に保護者にアンケートを取り、ニーズや課題を聞き取り確認している。また、ケース会議の中で各職種の見解を全職員で共有し、支援計画に反映させている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	ケース会議での情報共有、児童発達支援計画の作成の際には、全員に計画案を提示し、訂正、追記など確認し全員で完成させている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	標準化された評価ツールを使用し、評価結果は文書で保護者に伝えたり、支援計画の作成に生かしている。	

児童 な 支 援 の 提 供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	児童発達支援計画に、ガイドラインのどの項目に該当するか、わかりやすく記載し、具体的な支援内容を記載するよう努力している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	月単位、週単位、出席する児童を考慮して、固定化、マンネリ化しないようプログラム内容を設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	始業時に全職員でミーティングを行い、役割の確認、共有すべき事項を出し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	支援終了後、全職員でミーティングを行い、支援の振り返りや情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	定期的に支援計画の評価を行い、ケース会議の中で次の支援計画を立案している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	併行利用、移行に向け、保護者の希望を聞き取り、個々に合わせた事業所や園を選定し、要望により見学の同行をしている。他機関への情報提供を丁寧に行い、連携し、相互理解に繋がられている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	13	0	他の児童発達支援センターと連携し、地域の事業所の方々を対象とする研修会の企画・運営を実施している。 児童発達管理責任者、相談支援専門員等職種ごとの連携を図り、情報共有をしている。	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	13	0	事業所内の職員だけでなく、ちくたくの医師や訓練士からも助言をもらい、質の向上に努めている。また、外部研修にも積極的に参加している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	13	0	代表の職員を中心に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答)	0	0		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	13	0	地域の保育園との交流を実施している。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	日常的に、こどもの状況を保護者と伝え合うよ うにしている。 訓練では、医師の見解のもと、こどもの発達 の状況や課題についての共通理解を深め、保護者 へ都度丁寧な説明をしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援 プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加で きる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0	ちくたく心理士による子育て講座を年4回開催 している。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説 明を行っているか。	13	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、 こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切 に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等 により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をして いるか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の 支援をしているか。	13	0	グループ懇談会を定期的に実施している。 園行事にきょうだいも参加できるようにしてい る。	行事以外でも、きょうだい同士で交流す る機会を設ける検討をしている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を 整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れ があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用するこ とにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	13	0	SNSでの発信はしていないが、毎月、園だより を発行している。また、連絡事項は掲示板や口 頭でも細やかに発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	個人情報は施錠できるところに保管し細心の注 意をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮をしているか。	13	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業 運営を図っているか。	13	0	地域のボランティアを広く受け入れており、 現在8名の方が登録している。令和6年度はボラ ンティアによるコンサートも3回実施した。	
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユア ル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知 するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生 に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている か。	13	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を 確認しているか。	13	0	看護師が、小児科診察に同行し診察内容も含め て状況を確認して職員間で共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づ く対応がされているか。	13	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必 要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行わ れているか。	13	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよ う、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知して いるか。	13	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策に ついて検討をしているか。	13	0		

	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会の設置及び毎年職場研修を実施しており、身体拘束についても全職員で確認している。 なお、身体拘束の必要性があることが想定されるケースの場合は、支援計画へ記載する。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	0		